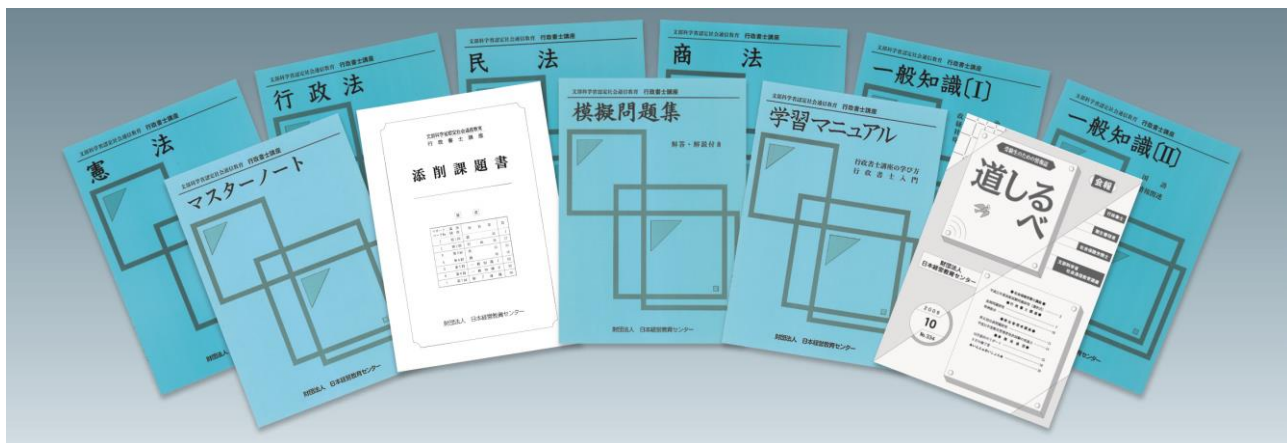


行政書士講座



●理解しやすいテキスト、添削課題で自信をつける

テキスト（全部で6冊）の内容は、わかりやすくまとめられています。

毎月の添削課題への取組みと「マスターノート」「模擬問題集」の活用により、確実に基礎力の修得と実力アップを図ることができます。

修了課題は、学習の総仕上げとしてチャレンジするようになっていて、設問は国家試験と同様、五肢択一式、多肢選択式および記述式です。

●マスターノート

テキストの重要ポイントを記入式でチェックします。これを繰り返すことで、重要語句が確実に身につき、選択式対策にも役立ちます。

各法律の基本体系を、試験の出題傾向に基づいて整理するとともに特例的事項も加味しており、サブノートとしても活用できます。

■学習のカリキュラム

科目	主な内容
憲法	天皇、基本的人権、国会、内閣、裁判所、財政、地方自治、最高法規
行政法	行政法総論、行政手続法、行政事件訴訟法、行政不服審査法等
民法	総則、物権、債権、親族、相続
商法	会社法総論、株式会社、持分会社、商法総則、商行為法(基礎法学を含む)
一般知識 [I]	政治・経済・社会
一般知識 [II]	情報通信・個人情報保護・文章理解
修了課題	法令科目・一般知識

■教材の構成

- ①テキスト
 - ②マスターノート
 - ③模擬問題集
 - ④学習マニュアル
 - ⑤添削課題書
 - ⑥レポート用紙
 - ⑦質問票
 - ⑧会報(9か月間)
- (※原則すべてB5判)

- 開講時期 原則、毎月1日開講
- 学習機関 6カ月(在籍期間12カ月)
- 受講料 38,500円

※改訂に伴い、テキスト構成が変更となる場合がございます。

■行政書士試験の実施方法

行政書士試験は、次の2分野について筆記試験により実施されます。

法令科目・・・憲法、行政法、民法、商法及び基礎法学(46問)

一般知識・・・政治・経済・社会、情報通信・個人情報保護・文章理解(14問)

※憲法、行政法、民法、商法及び一般知識の多くは、公務員試験でも出題範囲であることから、公務員試験対策の先取り学習として行政書士試験にチャレンジする方も多いようです。